

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年7月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鹿島市役所	代表者名	樋口久俊
担当者部署	企画財政課	連絡先電話番号	0954-63-2101
担当者役職	総務部理事	担当者氏名	松林 聡
住所	849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回研修の目的は、国の方の動きである「自治体DX推進計画」への対応や、本市「財政運営プランでの取組み(ICTの活用等)」について、全職員に対しての意識付けを主眼に置き実施した。 川口様の方から、「現役自治体CIO補佐官が本音で語る自治体DX推進計画について」と題して、鹿島市の5年後、10年後を職員が自分事として捉え、今からデジタル変革等、実行に移していくよう意識付けとなる講義を実施して頂いた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月21日	15時00分	16時30分		90
派遣形態	講演(オンライン)				

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	一般職員	87人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体DX推進計画の実行に向けて、どうやって取り組んでいくのかわからない。 上記にあわせ、RPAに適した業務等の洗い出しをどうやっていくのかわからない。 	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体DX推進計画に対するスケジュール感、全体像を把握すること AI・RPAなどデジタル変革に限らず、職員が自分事として捉え、住民サービスの向上に繋がり、かつ、業務の効率化に資する事務、作業の検討を行うこと 	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化=ICT活用ではない。むしろ効率化を妨げる阻害要因を洗い出すことが重要。 自治体は失敗ができないという要素が強すぎる。変改が多い時代であり、小さく多く取り組むことが重要。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体DX推進計画、及び住民サービス向上や業務効率化に対する職員の意識付け。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

